

うれしいお声
届いています!!

2025.11.13開催

映画「人生をしまう時間(とき)」上映会&トークセッション

元気な時に最期を
どうしたいかを家族
に伝えたいと思いま
した。

若い高齢関係なく、
命には最後が必ず
あるので悔いなく人
生と向き合っていけ
たらと思います。

自宅で看取られる満足、
看取る家族の満足、い
ろいろな思いを感じさ
せられました。人生の
終わり方を考えさせら
れました。

自分の最後をまた
その日までどう生き
るかを見つめること
ができました。

感動的なシーン心を打
ちました。沢山の人た
ちに見てもらいたいと思
いました。

娘の介護をしています。
上映会をみて日々穏やか
に喜ぶことをしてあげられ
たらと思いました。

自分なりのしまい方を選
べばよいと思った。延命よ
り充実した最期(本人の
意思)を尊重する医療で
あってほしい。こんな医師
が増えることを望みます。

最期の時間を
特別ととらえる
のではなく、思
いは知りつつ、
日常の延長に
その時間があ
ると感じるこ
とができる。

トークセッションは
映画の理解に大
切な時間でした。

認知症になってし
まった夫ともっと前
に聞いておきたかっ
たです。

これから将来を考える学
生さんに在宅医療・看護
に興味を持ってもらいた
い。在宅に関わる人が増
えてほしい。

ACPの話は大事な
人とはどなかなか
話せていないのが
現状ですが、きっか
けとなる映画でした。

監督の話が聞いて良
かったです。人の数だけ、
人生がある、そのしまい
方もそれぞれ。その一部
を垣間見れたことは貴
重な時間となりました。

「生きる」「しまう」と
いうことを地域のみ
んなで共有した時
間でした。

今回の映画とトーク
セッションを機会に
私も自分の人生をし
まうことを逃げずに
考えてみようと思
います。

必ず死がある中で、家
族への自分の意志を伝
えることの大切さを思
いました。終活をします。
愛する家族のためにも。

お寄せいただいた感想の一部です